

プランターで作る 瓢箪（ひょうたん）の栽培方法

瓢箪はウリ科の植物で、一年草です。春に種をまくと夏に実をつけます。ツル状に成長しますので、緑のカーテンにすることができます。植木鉢やプランターでも育ちます。

瓢箪は「日本書紀」に登場するなど、日本で古くから栽培されてました。東山は豊臣秀吉ゆかりの地です。豊臣秀吉は瓢箪をシンボルとして使っていたことは有名です。

1 年

4月 種まき

苗づくり

5月 苗をプランターに植え替え

水やり

摘心（芽の先を摘む）

誘引（伸びたツルをネットに沿わ

6月 水やり

化学肥料をまく

誘引（伸びたツルをネットに沿わす）

受粉

7月 水やり

化学肥料をまく

受粉

痛んだ葉を取る

雑草を抜く

8月 水やり

化学肥料をまく

痛んだ葉を取る

雑草を抜く

9月 水やり

収穫

片付け

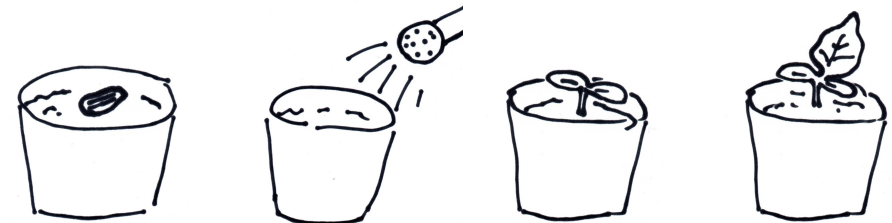
加工 穴あけ・種だし・水漬け

または、自然乾燥

10月 加工 水洗い・乾燥

瓢箪（ひょうたん）栽培 4 月

4月初めごろに種をまきます。瓢箪は最高気温が25度を超えると発芽します。種まきは、小さなポットに種まき用の土を使います。陽のあたる場所に置き、土が乾かないように水やりをします。



種は2cmくらいの
深さにうめます

25度を超えると
双葉が発芽します

本葉もでてきます

ご注意：鑑賞用の瓢箪には毒性があるので食べられません。